|  |
| --- |
| １　就労支援総合案内窓口及び個別相談の支援体制と支援内容・窓口・電話の受付体制、開設日時の設定を示すこと。・国・県・市が行う就労支援機関や事業で連携できそうなものがあれば上げ、どのように連携するか示すこと。・個別相談の受付及び相談体制、相談曜日、相談時間帯、１回の相談時間、相談シートの項目立て、求職者への支援方針を示すこと。２　就職氷河期世代を中心としたDX基礎知識習得セミナーの手法・内容　　・セミナー内容、開催時期、回数、募集方法、募集目標、到達目標等を示すこと。３　各就職支援プログラム（就職氷河期世代向けインターンシッププログラム・就職氷河期世代を中心としたデジタル人材就職支援プログラム）の手法・内容　　・それぞれのプログラム別に、実施内容、実施時期、開催回数、募集方法、到達目標、参加者の就職支援方法等を示すこと。４　インターンシッププログラム等の登録企業の開拓手法・内容・市内中小企業への人材確保の視点も示すこと。５　相談記録の管理体制及び分析手法６　事業全体や各支援プログラム別広報の手法・計画・内容　 ・効果的で実現可能な広報の手法やスケジュールを示すこと。７　マッチング支援の手法・内容及び関係機関との連携による効果的な事業実施 ・支援方針・手法、到達目標を示すこと。 ・各目標値を達成するための具体的な連携方法を示すこと。 |

**（様式３－２）業務の実施方針および手法**

※業務内容ごとの具体的提案について、実施手法や内容、実施回数・数値目標等について具体的かつ詳細に記載してください。